

製品名: ATP5A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86853**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:60 kDa; Observed MW:60 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP5A
別名	OMR; ORM; ATPM; MOM2; ATP5A; hATP1; ATP5A1; MC5DN4; ATP5AL2; COXPD22; HEL-S-123m
遺伝子 ID	498
SwissProt ID	P25705
免疫原	ヒト ATP5A の合成ペプチド

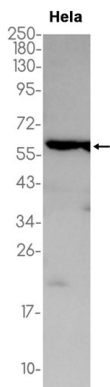
背景

この遺伝子は、ミトコンドリア ATP 合成酵素のサブユニットをコードします。ミトコンドリア ATP 合成酵素は、酸化的リン酸化反応中に内膜を横切る電気化学的プロトン勾配を利用して ATP 合成を触媒します。ATP 合成酵素は、可溶性触媒コアである F1 と、プロトンチャネルを構成する膜貫通成分である Fo という、2つの連結した多サブユニット複合体で構成されています。ミトコンドリア ATP 合成酵素の触媒部分は、5つの異なるサブユニット (α 、 β 、 γ 、 δ 、 ϵ) で構成され、 α サブユニット3個、 β サブユニット3個、および他の3つのサブユニットを代表する1個という化学量論で組み立てられています。プロトンチャネルは3つの主要なサブユニット (a、b、c) で構成されています。この遺伝子は、触媒コアの α サブユニットをコードします。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。この遺伝子の擬似遺伝子は、9番、2番、16番染色体に位置する。
[RefSeq 提供、2012年3月]

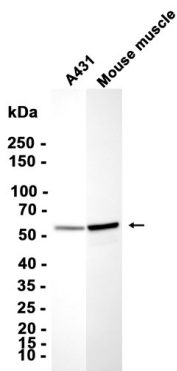
研究分野

-

画像データ



ATP5A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。



AMRe86853 を 1:2000 で使用して、A431 細胞およびマウス筋肉組織からの抽出物のウェスタンプロット分析を行いました。